

総会フラッシュ



● J E R コンクリート 補改修協会

(7月30日)

任期満了に伴う役員改選が行われ佐藤匡良会長（日本ジッコウ社長）＝写真＝が再任した。

また、新中部・北陸支部長として平村圭雨氏（テクア社長）が選任された。

佐藤会長は担い手問題に触れ「社会情勢を受けて工期短縮ができる技術や省力化開発を進めているが、これだけでは労働者不足の解消にはつながらない。将来的には自動施工化にも目を向けて取り組まなければならないが、当面は会員向けのマッチングシステムを活用してほしい」と訴えた。

協会は2025年度の新規事業として、ネットワークを構築し、全国の協会員と情報交換を行うマッチング事業を展開する。これにより人手不足による受注控えの解消を図る。

その他議案審議についても、全て承認した。



● J E R コンクリート 補改修協会管路部会

(7月30日)

井上敬介部会長＝写真＝は、埼玉の陥没事故を受けて「今年

の下水道展ではメンテナンス部分に着目されている。また、異業種からの参入も活発化しているため、われわれ協会も社会情勢に遅れることなく対応していかなければならない」と呼びかけた。

2024年度事業報告や収支決算の他、役員改選などの議案を審議し、承認した。役員改選では井上部会長や副部会長が再任した。

25年度事業計画として、管路部会の知名度向上へカタログ刷新や新たな展示会への出展に向けた視察を行う他、工法に関する施工アニメーション作成に取り組む。